

令和3年度おすすめ絵本リスト37選

No.	絵本のタイトル	作者	出版社	ひとこと
1	こねこのきょうだいかぞえうた おふる	石津 ちひろ/文 石黒 亜矢子/絵	BL出版	仲良しこねこのきょうだいの、お風呂に入って出るまでを、一緒に数えてみませんか？1,2,3,4・・・思わず声にだして読みたくなる一冊です。
2	なんだかたのしそう	古内 ヨシ	絵本館	だれかが笑うと、楽しい気持ちは広まって、気がついたらみーんなにここにたのしそう！楽しいのは動物だけではありません。山も、おひさまも、楽しくなって、にこにこにこ。
3	どんなかんじかなあ	中山 千夏/作 和田 誠/絵	自由国民社	相手の気持ちになってみるのはとても大切なことですね。絵本と同じように、どんなかんじなのか親子で考えてみてください！いろんな発見があると思います。大人にも読んでほしいです。
4	だるまさんが	かがくい ひろし	ブロンズ新社	赤ちゃん絵本の定番です。だるまさんとリズムに合わせて一緒に体を揺らしたり、表情を作ったり、親子で楽しんで欲しいです。ファーストブックとしてもおすすめです。
5	はなび ドーン	カズコ G・ストーン/作	童心社	「くらーい よぞらに シューッ パンッ ドーン」と上がる花火。色も音も形も様々な花火が打ち上がります。夏はもちろん、他の季節にも繰り返し読みたくなる絵本。
6	おちゃのじかんにきたとら	ジュディス・カー/作・絵 晴海 耕平/訳	童話館出版	ソフィーとお母さんが台所でお茶の時間にしようとしていると、玄関のベルが鳴りました。ドアを開けるとそこにはとらがいて、「おちゃのじかんに、ごいっしょさせていただけませんか？」と礼儀正しく頼みます。
7	なんだこれは	横山 寛多/作・絵	偕成社	はっぱの向こうに何かがある・・・？「なんだこれは！」おどろきと発見が楽しい絵本です。五感を働かせて、色々な虫を発見してみましよう。
8	はぐ	佐々木 マキ/文・絵	福音館書店	海辺にやってきたらくだとしまうまは、会えてうれしくて、おもわず「はぐ」。ぶたさんも、たこさん、おじさんまで・・・「はぐ」。あたたかい気持ちでいっぱいになる一冊です。
9	もりのかくれんぼう	末吉 暁子/作 林 明子/絵	偕成社	森の中にたくさんの仲間が隠れています。大人の方が見つけられないかもしれないかもしれません。どちらが先に見つけられるか競争しても楽しいですよ。表紙にもかくれんぼしているのわかりますか？
10	わくわく！ れっしゃで かぞくりょこう	サトシン/作 羽尻 利門/絵	交通新聞社	なかなか家族旅行にも行けない世の中ですが、絵本を読んで気分だけでも楽しい旅行気分を味わって欲しくてこの本を選びました。特急列車、駅弁、温泉と綺麗な景色。落ち着いたら行きたいですね！
11	かける	はらぺこめがね/作	佼成出版社	何でもおいしくする魔法をかける。「ちゅるるるー」「ちよろちよろぴゃっぴゃっ」「しゃらんらんらん」「さっさかさっさ」「ぱかっどるるん」「ねちねちうによん
12	おとなしいめんどり	ポール・ガルドン/作・絵 谷川 俊太郎/訳	童話館出版	猫はソファでごろごろ、犬はポーチでうとうと、ねずみは椅子でぐうぐう。うちの中の仕事をするのはおとなしいあかいめんどり。そんなめんどりが作った見事なおかしを食べるのはだれ。
13	へんてこたいそう	新井 洋行	小峰書店	どこかで見たことがあるマークたちが、ちょっとおかしいたいそうをはじめます。東京オリンピック開会式で話題になったピクトグラムも。思わずマネしたくなりますよ。
14	うごきません。	大塚 健太/作 柴田 ケイコ/絵	パイインターナショナル	鳥なのに、じーっと立ったまま、うごかないハシビロコウ。友だちのかばや変な動物たちが来ても、うごきません。でも、大ききなものには、ず、ず、すごいんです。
15	まるまるまるのほん	エルヴェ・テュレ/作 谷川 俊太郎/訳	ポプラ社	●を押してこすってクリックしたら、アラびっくり！本を傾けゆすってみたら、こんなに変わったヨ！アナログなのに動き出す●。心で感じて子どもと一緒に楽しんでほしい一冊です。
16	まどのむこうのくだものなあに？	荒井 真紀/作	福音館書店	四角い窓から見えるのは、いちご、メロン、みかん、など。どれも、まるで、本物そのもの。正確に細部まで描かれています。とても、きれいで、ふしぎで、食べたいほどおいしそうに見えます。裏からも楽しめます。
17	パンどろぼう	柴田 ケイコ/作	角川書店	ふっくら焼きたてをねらう、パンが大好きパンどろぼう。いとしのパンを求めて今日も忍び込みますが…まさかの展開に誰もが大笑い！パンどろぼうの魅力にハマりますよ。
18	パンダ なりきりたいそう	いりやま さとし	講談社	ころころしたパンダと一緒に、ぐ～んとのびをしたり、おしりをくねくねしたり、ぎゅーっと抱きしめたり・・・「パンダなりきりたいそう」でころもからだもほかほかになる1冊です。
19	かがみのサーカス	わたなべ ちなつ/作	福音館書店	かがみで絵本を楽しくしてくれるシリーズです。でももっと楽しいのは、おひざの上でのよみかかせて、お父さんお母さんと顔をくっつけて楽しむところかな。
20	しましましましよ	北村 人/作	小学館	しましまのシマウマに反応して、周りの動物や車や森などがしましまになっていきます。「しましましましよ」と、声に出しながら読むと、テンポよく、よりいっそう楽しめます。

令和3年度おすすめ絵本リスト37選

No.	絵本のタイトル	作者	出版社	ひとこと
21	きみはライオン!	ユ・テウン/作・絵 竹下 文子・訳	偕成社	ライオンや、へびや、かえるの真似っこをするように、「ヨガのポーズ」をしてみましょう!絵本を見ながら体を動かせ、親子ではもちろん、幼稚園や保育園の現場でも楽しめる一冊です。
22	心ってどこにあるのでしょうか?	こんの ひとみ/作 いもと ようこ・絵	金の星社	みなさんは、心ってどこにあると思いますか?ドキドキするからお胸にあるのかな?考えると頭が痛くなったりするから頭かな?心って目では見えないけど体の色々なところにあるのかもしれないね!
23	だるまちゃんとだいきくちゃん	加古 里子/作・絵	福音館書店	大好きな「だるまちゃんシリーズ」でよくこどもと一緒に読みました。うちでのこづちを振ると何がでてくるかな?ページをめくるワクワク感を親子で味わってください!
24	すっぽんぼんのすけ	もとした いづみ/作 荒井 良二/絵	鈴木出版	血統も仲間も装備も道具もスキルも転生も、そして服すら必要ない。ありのままの自分をさらけ出した主人公の物語。裸のヒーローが伝えたいことはたった一つ、「おふるあがりは はだかが いちばん。」
25	だごだご ころころ	梶山 俊夫/絵・再話 石黒 漢子/再話	福音館書店	気のいいじいさんが、だごをぼろりと落としてしまい、それを拾おうと、これまた気のいいばあさんが、舟に乗って川を渡り、暗い穴の中へ入ったから、赤とんぼはなおさら真っ赤になったと。
26	アリィはおとどけやさん	大久保 雨咲/作 吉田 尚令/絵	ひさかたチャイルド	ありのアリィは、くさむらのおとどけやさん。毎日とても忙しくしています。いもむしのイモムは、アリィと遊びたいのに、いつも忙しいからと断られてしまいます。でもある日……
27	たべたのだーれだ?	たむら しげる/作	福音館書店	チーズにぽっかり空いた穴から、だれかが顔をのぞかせています。たべたのだーれだ?しっかりしたボードブックに、穴あきのしかけがある、かわいかわい絵本です。
28	おばけのてんぷら	せな けいこ/作・絵	ポプラ社	うさこちゃんがお家でてんぷらを揚げていると、匂いにつられ山からお化けが下りてきました。なんとうさこちゃん、お化けをてんぷらにしちゃいます!さてどうなっちゃう?
29	どんめくり	やぎ たみこ	ブロンズ新社	絵本が上下2つに分かれている面白い絵本です。上下組み合わせるとどんぶりを作ってみてください。どんなどんができるかな?楽しくてわらっちゃうユーモアたっぷりの1冊です。
30	たぬきのひみつ	加藤 休三/文・絵	文溪堂	「だれにも いっちゃんいけないよ。」たぬきのおへそには秘密があって、それを聞いたら、あなたのおへそも……。りすのしっぽにあひるのくちばし、隠されているおいしい秘密が見えるかな。
31	まってるまってる	高畠 那生/作	絵本館	何の行列かもわからず並んだその先にあったタコ焼きの屋台。タコ焼きを食べながら歩いていくと、また「まってるまってる なんのぎょうれつ」。つつい並びたくなる絵本。
32	ことりのぴーと	ディック・ブルーナ/文・絵 まつおか きょうこ/訳	福音館書店	羽を一枚も持っていないぴーと。きれいな羽がほしいと思っていたぴーとに、友達の小鳥たちは、自分たちの羽を一枚ずつあげることにしました。やさしい気持ちになれる絵本です。
33	おやつトランポリン	大塚 健太/文 小池 壮太/絵	白泉社	いちごやチョコレートなど、食べ物たちが、トランポリンで跳ねて、ケーキやパフェの上に「すたっ!」と着地します。飛ぶ音、着地の音……声に出して読むと、たのしい気持ちになりますよ♪
34	おべんとうバス	真珠 まりこ/作・絵	ひさかたチャイルド	おかずさんたちが次々とバスに乗り込みとっても美味しそうなお弁当が完成します。食べ物や乗り物に興味を持ち始めたり、「ハーイ」のお返事を始めた頃にぴったりの絵本です。
35	どこへいくの? To See My Friend! (ともだちにあいに!)	いわむらかずお/作 エリック・カール/作	童心社	前から後ろからも読める絵本です。「14ひきのシリーズ」のいわむらかずお氏と、「はらぺこあおむし」のエリック・カール氏、とっても有名な作家2人がタックを組んだ、めずらしい絵本です。
36	はるです はるのおおそうじ	こいで たん/文 こいで やすこ/絵	福音館書店	大掃除のために家具を庭へ運び出した三匹のねずみ。りすの親子にカーテンをほめられプレゼントすると、それを見ていた動物たちが次々にやってきて家具を持って行く。最後にやってきたあなぐまに家をほめられて…。
37	ひょっこりひとつ	佐々木 マキ/作	福音館書店	クマの足元から「ひょっこりひとつ」。カバが見上げた空に「ふんわりふたつ」。ライオンが花壇で咲かせた「みごとな みつつ」。蛇が食べた「よくばって よつつ」。楽しく数えられる数え歌絵本。